SMILE ★★★★★ MEISTER

笑顔のマイスター

第34回

いつも元気に笑顔で働くヒミツを教えてもらうべく、笑顔の「匠」の素顔に迫るコーナーです♪
ここでは、日々の業務や職種についても詳しくご紹介いたします。

今号のマイスターは…

臨床工学課 臨床工学技士 三五（さんご） 和輝（かずき）さん

マイスターにQ&A

Q. この職種を目指したきっかけは？

A. 母が医療関係の仕事に就いていることもあり、医療という職種に興味がありました。機械操作が得意なこともあり、機械を通して患者さんの治療の手助けや、医療スタッフの治療行為のサポートができることに魅力を感じたので目指しました。

Q. 仕事をする上で心がけていることは？

A. 広範囲な業務に従事していて、様々な職種の方と仕事をするため、各職種との連携を円滑に行えるよう、積極的にコミュニケーションをとることを心掛けています。

Q. 当院を選んだ理由は？

A. 私が学生の頃、実習を当院で行いました。実習を通して感じた、先輩方の丁寧な対応や明るい雰囲気に惹かれ、自分もここで働きたいと思い選びました。

Q. 好きな言葉はなんですか？

A. 笑う門には福来る

Q. 趣味または特技（今はまっていること）はなんですか？

A. ゴルフ

臨床工学技士とは

医学の進歩につれて医療機器も高度化しているなか、医学的、工学的な知識をもって医療機器を操作できる専門職です。血液浄化装置、人工心肺装置（エクモ）、人工呼吸器といった生命維持管理装置を安全かつ的確に操作・管理することが主な役割となっています。その他にも、心臓カテーテル検査、ペースメーカーや植込み型除細動器の植え込み時の操作・管理などと、多岐にわたる役割を担っています。

チーム医療では、患者さんを中心に医師や看護師をはじめとする様々な医療スタッフが連携して治療を行いますが、臨床工学技士は、最も医療機器の扱いに長けた職種として、現在の医療には欠かせない存在となっています。

三五さんのある日のスケジュール

8:30	医療機器の動作確認
9:00	多職種カンファレンス
9:30	透析装置の定期交換
10:30	人工呼吸器の巡回
12:30	昼食
13:30	補助循環装置使用患者対応 医療機器のトラブル対応
17:00	申し送り
17:30	退勤

臨床工学技士の業務

当院での臨床工学技士が行っている業務は、院内で使用されている医療機器の保守点検をはじめ、血液浄化装置、人工心肺装置、人工呼吸器の操作・管理の業務から心血管カテーテル業務、ペースメーカー業務、集中治療業務、手術室業務、内視鏡業務など、広範囲な業務を担っており、臨床工学技士として臨床現場で行える業務のほとんどを行っています。

医師や看護師などの医療スタッフとともに、より安全な医療を提供できるよう努めています。

今後の目標・意気込み

臨床の現場では迅速な対応を求められることが多々あります。経験と知識を積み重ね、どんなことにも対応できる臨床工学技士として日々精進していきます。

Group photo

臨床工学課の皆さんと
（下段中央が三五さん）